

平成28年8月15日(月)

老球の細道258

スカウティング

会津バスケットボール協会 室井 富仁

ゲーム前のゲームマネジメントで大切なことに「スカウティング」がある。相手チームの戦力を知ることである。孫子の兵法にも「敵を知り、己を知れば、百戦危うしからず」とあり、戦う前に相手の戦力を十分知り尽くすことがいかに重要であるかを述べている。綿密な作戦(ゲームプラン)を立案するために、相手チームと自分のチームの戦力をできるだけ綿密周到に知る必要がある。

スカウティングしてから、その内容をゲームに役立たせるためには次のようなプロセスを必要とする。①相手チームをスカウティングする②自チームの戦力を正確に把握する。③相手チームと自チームの戦力を比較検討する④戦い方を決定する。ゲームプランを立案する⑤作戦を徹底的に練習する。

このような手順を踏んで、スカウティングした情報がゲームに活かされるようになる。

スカウティングの最良の方法は、コーチが自らの眼でゲームを見てスカウティングすることである。もしそれができなければ相手チームのビデオテープを手に入れること。コーチの眼で見て、それをビデオでもう一度確認できれば最高である。ゲームも見れない、ビデオもない状態であれば、最後の手段はスカウティングするチームと対戦したり、ゲームを見たことのある知人のコーチに電話をして聞くという方法もある。その時に注意しなければならないことは、その知人のコーチがどれだけ信頼できるかということである。

スカウティングする時は、あらかじめ「チェックリスト」を準備する。何でもかんでもスカウトしても無意味である。勝つために何をしなければならないかを教えてくれるものに絞って情報を収集する。概ね4つのカテゴリーでスカウティングできれば十分であろう。

- ①チームオフェンスについて：速攻、セットオフェンスのパターンは。アウトオブバウンズプレイのパターンは。チームの役割分担(ポイントガード、センター、シューター)等。
- ②チームディフェンスについて：マンツーマンかゾーンか。プレスはあるか、そのタイプは。スクリーンに対してはどのようなディフェンスで対応するか。ポストに対してはどのように守るか等。
- ③個人について：スピード、サイズ、メンタル、利き手、得意なプレイは等。
- ④チーム全体：組織化されているか、勝手気ままか。粘り強いのか、あきらめが早いのか。コーチの性格は等。

綿密にスカウティングすることは重要であるが、何事もやり過ぎは禁物である。史上最高のコーチ、ジョン・ウッデンはスカウティングに関して次のように述べている。

「相手のことをあまりよく知りすぎると自信過剰になったり、逆に委縮してしまったりする。近づくゲームに対するコーチの感情の動きをプレイヤーも感じてしまう。すべてのプレイに対して準備する時間はない。自分たちの基本となるオフェンス、ディフェンスをパーフェクトに行えるようにする。これがどんな相手にも通用する準備である」

相手チームのスカウティングは必要最小限にして、その情報もプレイヤーには多くを知らせない。最終的には、相手が何をしてくるかということよりも、自分たちが何ができるかを優先して作戦を立案する。